

横浜市では、18区に社会福祉協議会があり、神奈川区にも「神奈川区社会福祉協議会」(以下区社協)が組織されています。区社協は、制度や仕組みだけで解決できない課題を、住民の皆様と一緒に考え解決できるよう応援する組織です。今回の区社協だよりでは、幸ヶ谷地区の「みもりたい」と、菅田地区の「あおぞらサロン」の取り組みについて紹介します。

幸ヶ谷地区

「みもりたい」

～さりげないみもり活動～

「みもりたい」を組織

幸ヶ谷地区では日常的な関わりの中で、さりげない見守りを進めるために「みもりたい」を組織しています。「みもりたい」のメンバーは、幸ヶ谷地区にお住いの住民のみなさんです。

「みもりたい」とは

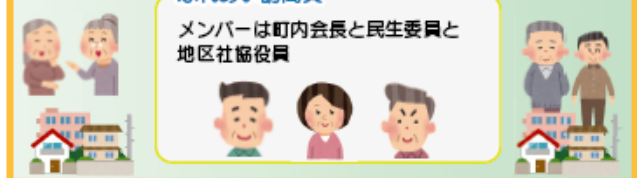
幸ヶ谷地区は、旧東海道沿いの古くから栄えた地域で、高齢者の方も多数住まわれています。孤独死、認知症、介護疲れ、虐待等…。様々な問題が起こっている現代社会。これらの課題に対して、今後は地域全体で、見守り、支え合うことが求められています。しかし民生委員さんや自治会の役員さんだけでは見守りを行うことが難しくなっています。そこで、見守る側と見守られる側を分けることなく、住民みんなで自然な形で、さりげなく見守り活動を行なっていこうというのが「みもりたい」の取り組みです。

「みもりたい」のイメージ

メンバーは幸ヶ谷地区住民なら誰でも

ふれあい訪問員

メンバーは町内会長と民生委員と地区社協役員



「みもりたい」の活動

①お互いに元気が確認！

日常生活の中で「あいさつ」をしたり「立ち話」をする中でお互いに元気だという事を確認！日常の当たり前の風景が、ある日突然変化する…。そんなちょっとした変化に気づくことが、大きな異変にいち早く気づくきっかけになります。

②民生委員さんに連絡！

元々顔見知りの人、そうでない人に聞わず、「ちょっと気になること」があれば、すぐに民生委員さんに連絡！「みもりたい」はちょっとしたことに気付くのが役割。専門的な対応は民生委員さんが行うので「みもりたい」は安心して活動ができます。

菅田地区

「あおぞらサロン」

～マップづくりからサロン活動へ～

はじめは支え合いマップから！

菅田のある地区の住民どうしの支え合いマップ(※)作成時、参加者が「この人、最近みかけないなあ」などと話し合っているうちに、引きこもっている人や地域と付き合いのあまりない人が多くいることが分かりました。

井戸端会議からあおぞらサロンへ！

マップづくり参加者の一人が「井戸端会議をしましょう。うちのガレージでもよければどうぞ」と言ってくれました。すると話はどんどん進み、お手伝いしてくれる人も増えていきました。こうして「あおぞらサロン」の活動が始まりました。マップ作りがきっかけとなり、あおぞらサロンが生まれ、ご近所内での顔の見える関係が生まれ、住民の隠れた特技や能力が発揮されたりと、とても大きな成果が生まれています。

※支え合いマップ：ご近所(約50世帯)で行われている住民同士の交流や助け合いを、ご近所内の方に聞き、その情報をマップに記入していくものです。その中で地域課題も見えてきます。

「あおぞらサロン」の様子



「あおぞらサロン」のエピソード

ある引きこもりの男性が「居場所ができた」と言ってくれるようになり、「コーヒーを生まれて初めて飲んだ」と通ってくれている。

スタッフの理解と協力により、認知症の家族もサロンのスタッフとして一緒に活動している。

あおぞらサロン活動の広がり

あおぞらサロン活動は、現在、菅田地区の他のエリアにも広がっています。1つは民生委員でもある造園屋さんのガレージ、もう1つは町内会館のテラスで、それぞれ特徴のある活動をしています。菅田地区で民生委員として活躍している倉石さんは、「サロンでは、ご近所内の様々な出来事が寄せられ、研修を受けた民生委員が書き残しています。参加者同士は、サロンによって顔見知りになり、一週間前から何を着ていこうかと楽しみにしている人もいます」と話されます。

発行・問い合わせ

社会福祉法人 横浜市神奈川区社会福祉協議会

〒221-0825 横浜市神奈川区反町1-8-4 は一と友神奈川1階

TEL: 045 (311) 2014 (代表)

FAX: 045 (313) 2420

開館: 月～土 8:45～17:15

Email: info@kanakushakyo.com

(ホームページ) <http://www.kanakushakyo.com/>

